

第 10 節 植物による大気質のモニタリング

第 1 項 調査概要

大気汚染指標種であるウメノキゴケ等について、施設供用後における本種の生育状況のモニタリング調査を実施した。

1 - 1 調査年月日及び調査内容

調査は、表 10 - 1 に示したとおり春季から冬季にかけて各季 1 回の計 4 回実施した。

表 10 - 1 調査年月日及び調査内容

調査時季	調査年月日	調査内容
春 季	平成 15 年 5 月 2 日	ウメノキゴケ等の生育状況調査
夏 季	平成 15 年 7 月 17 日	
秋 季	平成 15 年 10 月 15 日	
冬 季	平成 16 年 1 月 28 日	

1 - 2 調査場所

調査場所は図 10 - 1 に示した 5 地点とした。

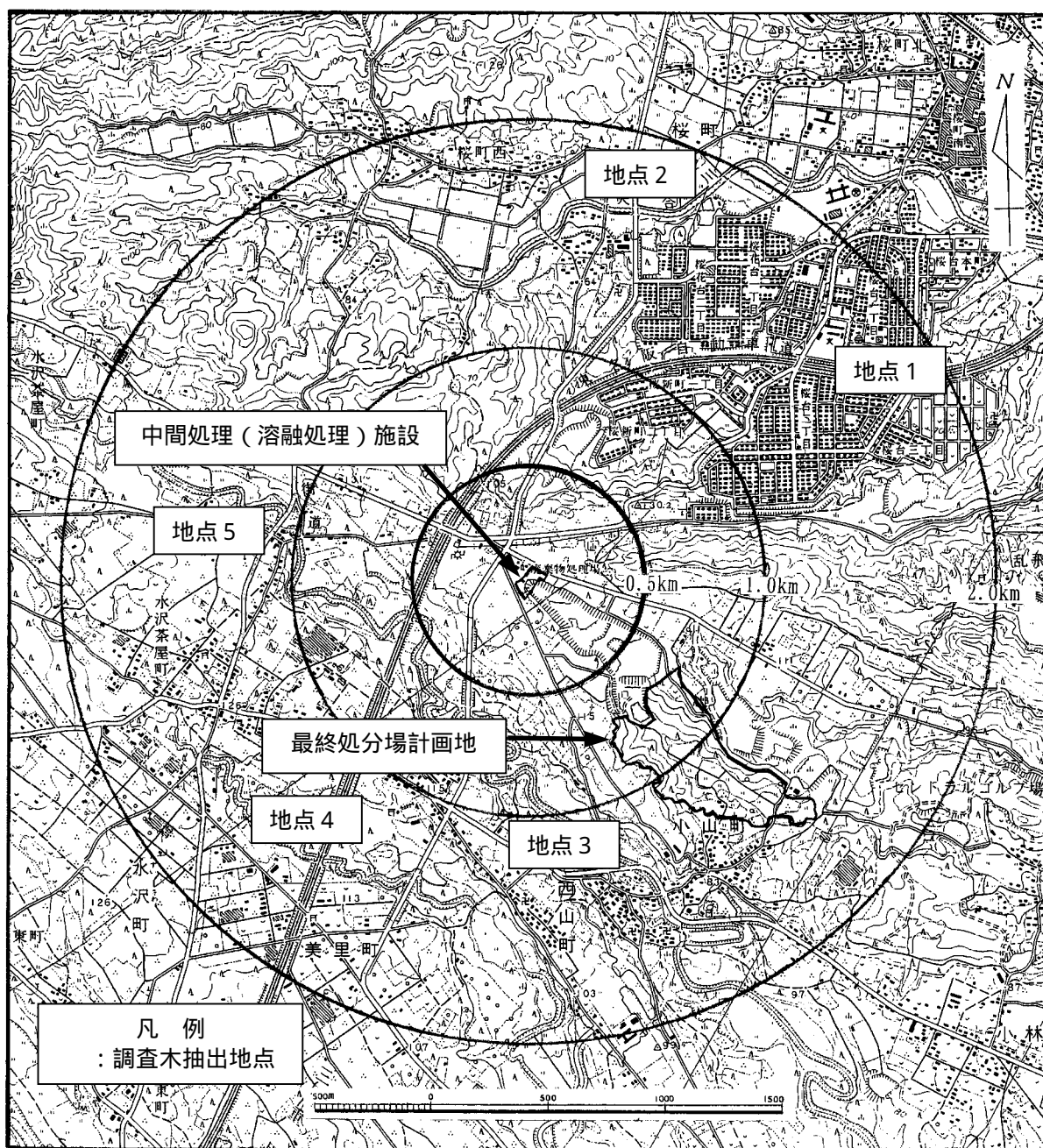


図 10 - 1 植物による大気質モニタリング調査地点

第2項 調査結果

調査の結果、表 10 - 2 に示したとおり、秋季の地点 2 及び 5 で一部欠落部分が、秋季及び冬季の地点 3 で一部崩壊部分がみられたが、これは人為的又は、日照不足等によるものであると思われる、本事業の実施に起因すると思われる変化はみられなかった。

表 10 - 2 (1) ウメノキゴケ等調査結果

時季	地点	生育木	大きさ (cm)	色	細胞	備考
春季	1	ニセアカシア	一面	葉状体裏面は つやのある褐色	崩壊なし	高さ 50cm ~ 200cm にかけて一面に生育
	2	ケヤキ	6.0 × 6.0	葉状体裏面は つやのある褐色	崩壊なし	
	3	タブノキ	10 × 10.8	葉状体裏面は つやのある褐色	崩壊なし	周囲に小ぶりの株が複数みられ、生育環境は良好
	4	ソメイヨシノ	一面	葉状体裏面は つやのある褐色	崩壊なし	高さ 15cm ~ 100cm にかけて一面に生育 特に 30cm ~ 50cm にかけて最も多い
	5	ソメイヨシノ	8.4 × 11.6	葉状体裏面は つやのある褐色	崩壊なし	周囲に小ぶりの株が複数みられ、生育環境は良好
夏季	1	ニセアカシア	一面	葉状体裏面は つやのある褐色	崩壊なし	高さ 50cm ~ 200cm にかけて一面に生育
	2	ケヤキ	6.0 × 6.0	葉状体裏面は つやのある褐色	崩壊なし	
	3	タブノキ	10 × 10.8	葉状体裏面は つやのある褐色	崩壊なし	周囲に小ぶりの株が複数みられ、生育環境は良好
	4	ソメイヨシノ	一面	葉状体裏面は つやのある褐色	崩壊なし	高さ 15cm ~ 100cm にかけて一面に生育 特に 30cm ~ 50cm にかけて最も多い
	5	ソメイヨシノ	9.5 × 13.0	葉状体裏面は つやのある褐色	崩壊なし	周囲に小ぶりの株が複数みられ、生育環境は良好
秋季	1	ニセアカシア	一面	葉状体裏面は つやのある褐色	崩壊なし	高さ 50cm ~ 200cm にかけて一面に生育
	2	ケヤキ	6.5 × 4.5	葉状体裏面は つやのある褐色	崩壊なし	対象木に着生している個体の生育は良好であるが、参考として記録している近隣のクスノキに着生した個体には、人為的な痕跡がみられ、右側が一部欠落していた
	3	タブノキ	9.5 × 11	葉状体裏面は つやのある褐色	一部崩壊	廃車の陰になり、日当たりが悪い
	4	ソメイヨシノ	一面	葉状体裏面は つやのある褐色	崩壊なし	生育良好
	5	ソメイヨシノ	9.6 × 13.0	葉状体裏面は つやのある褐色	崩壊なし	着生木の樹皮が剥がれて、同時に本種が一部欠落

「欠落」とは、本種が他の要因（人為的、着生木の成長等）により剥離することを指す。

「崩壊」とは、大気汚染等、生育環境の悪化に伴い、細胞が崩壊することを指す。

表 10 - 2 (2) ウメノキゴケ等調査結果

時季	地点	生育木	大きさ (cm)	色	細胞	備考
冬季	1	ニセアカシア	一面	葉状体裏面は つやのある褐色	崩壊なし	高さ 50cm ~ 200cm にかけて一面に生育 一部細胞の劣化がみられるものの、生育は良好であった
	2	ケヤキ	6.5 × 4.5	葉状体裏面は つやのある褐色	崩壊なし	生育良好
	3	タブノキ	9.0 × 11	葉状体裏面は つやのある褐色	一部崩壊	積み上げられた廃車の陰になり、日当たりが悪く崩壊もみられるが、中心部が隆起しており、成長もみられた
	4	ソメイヨシノ	一面	葉状体裏面は つやのある褐色	崩壊なし	生育良好
	5	ソメイヨシノ	9.6 × 13.0	葉状体裏面は つやのある褐色	崩壊なし	生育良好 本種の中心部が隆起しており、成長がみられた

「欠落」とは、本種が他の要因（人為的、着生木の成長等）により剥離することを指す。

「崩壊」とは、大気汚染等、生育環境の悪化に伴い、細胞が崩壊することを指す。

第 3 項 まとめ

今回の調査の結果、一部の株の生育状況に、人為的等、他の要因によると思われる影響がみられたが、施設の稼働に伴う影響はみられなかった。